

新春懇談会

平成29年1月25日開催

大住小学校鈴木巧校長先生はじめ、菊田教頭先生、教務主任伊藤先生、ボランティア委員会指導岡部先生4名と“子育て支援講座”、“福祉懇談会”（前頁記載）について検討しました。

この2つの事業はPTA開催日に同時開催していますが、子どもたちの帰宅時間の関係で、子どもたちとの懇談時間がとても少なくなってしまっている状況です。

今後、子どもたちとの懇談時間を確保し有意義な福祉懇談会とするべく、学校の“ボランティア委員会”の開催日に社協役員が学校を訪問するという案が挙がり、検討を進めることになりました。

また、大住小学校では、地域の皆さんとの交流を推進しており地域の皆さんの来校をお待ちしています。例えば、学校給食を食べるなど…、学校に行き子どもたちと交流してみませんか？



ふれあい広場

1月28日開催

牛島西四丁目町内会館に於いて、4町内会（牛島西四丁目、仁井田西瀧敷、みなみ野、第二みなみ野）の一人暮らし高齢者及び昼間にお一人で過ごされる高齢者を対象に、昼食を摂りながら、カラオケ大会、じゃんけん大会で楽しみました。「ストレッチ」指導で体のほぐし方を学びました。最後に参加者から「楽しかった、毎年やってほしい」「これからも運動を続ける」の感想を聞き継続して開催したいと思います。



ストレッチ指導



集合写真



カラオケ熱唱中

香典返し

金参萬円 梅邑 初子様
前大住地区社会福祉協議会会長 梅邑 供治様（平成28年8月ご逝去）
まことにありがとうございました。当会よりの報告で市社協だよりに掲載されました。

編集後記

平成28年度大住地区社会福祉協議会の事業を無事終えることができました。地域の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

「大住社協だより（第1号）」には、“地域の皆様のための活動を!!”と地域貢献への強い決意が感じられました。この30年間を支えご尽力を賜りました役員の皆様、諸先輩の皆様に敬意と御礼を申し上げます。

今年度は諸々の事業について新たな企画で臨みましたが、まだまだ改善の余地が窺えました。社会をとりまく環境の変化に伴い新たな課題も発生しております。役員一同、初心を忘れず「地域の皆様がいきいきとした高齢者のまちづくり」を合言葉に大住地区社会福祉協議会の事業活動に取り組んでまいりますので、町内会長はじめ民生児童委員、福祉協力員ならびに諸団体の皆様、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
事務局長 武田 誠悦

大住社協だより

No.30
(記念号)

平成29年3月20日

題字：佐々木満 筆

発行責任者：秋田市大住地区社会福祉協議会 会長 真坂芳明



いきいきとした高齢者のまちづくり

大住地区社会福祉協議会

会長 真坂 芳明

皆様ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より大住地区社会福祉協議会の事業運営について、ご支援、ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

この一年を振り返ってみますと、当会の一大イベントであります敬老会を始めとし、各種事業も皆様方からの絶大な心温まるご支援、ご協力を頂き滞りなく終了することが出来ました事を本項でもってご報告申し上げます。

昨年の国勢調査の結果から秋田市の人口は減少となり、それに比較し、高齢化率や要介護認定者の増加傾向が見受けられ、それに伴い介護費用も増加し、介護保険料が家計を圧迫する事になりかねません。そして、「今後も秋田に住み続けたい」との質問に対し、約80%が住み続けたいとの郷土を愛する嬉しい回答でありました。以上が秋田市のしあわせづくり市民意識調査1,617人の結果であります。これを受けて秋田市取り組みの基本的視点にもあるように「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり」に呼応し、当会は従前にも増した高齢者対策が必要と思われれます。その一環として、恒例のグラウンドゴルフ大会や新たに室内ゲームなどを企画し、高齢者が健康で楽しく遊べる場づくりを提供したいと思っております。何れにしても、地域の皆様との信頼関係を構築し、福祉活動発展のため邁進する所存でございます。

そのためには、皆様方から更なるご支援、ご協力を賜り今年も健康でお健やかに過ごされますよう心からご祈念申し上げ、30号特集の挨拶といたします。

大住地区敬老会 学行 9月18日開催



主催者挨拶
大住地区社会福祉協議会会長 真坂芳明



来賓挨拶
秋田市長 穂積 志

敬老会に参加して

稗田南町内会 会場 金一

長年勤めた会社を退職し、ふとまわりを見渡すと、時代は息子や孫の世代に移り変わっており、慣れ親しんだ地域の風景も時代の変化とともに様変わりしていることに気がきました。また、我々とともに戦後の高度成長期時代を支えてきた方たちも既に第一線を退いており、俗に言う「第2の人生」を歩んでいる姿を目の当たりにし、とうとう私も高齢者の1人になってしまったのかと少し淋しさを感じていました。

それでも私は、高齢者の仲間入りをしたことで、これまで先輩任せにしていた町内会の代表の立場に就くとともに大住地区の福祉協力員を担うことになり、老いてもなお社会貢献できることがないものかという前向きな考えが芽生え始めていました。そのようなときに、諸先輩方から敬老会出席のお誘いを受けており、私は、これまで敬老会に出席したことがなかったため、若干の不安や戸惑いはありましたが、思い切ってお誘いを受けることにしました。

敬老会に参加してみても驚いたことは出席者が多いことでした。出席前に、大住地区は住宅街であるため高齢者が多数居住していることは伺っていましたが、私の予想を遥かに上回る約200名の諸先輩方が会場を埋め尽くしていました。次に感じたのは、参加した諸先輩方の圧倒的なパワーでした。敬老会では、お互いに酒を酌み交わしながら様々な余興やカラオケなどを披露してもらいましたが、皆元気がみなぎっており、諸先輩方のパワーに圧倒されてしまいました。

また、敬老会では、秋田市長様や大住地区社会福祉協議会会長様から心温まる励ましのお言葉を頂戴したほか、同協議会員の方々など沢山の方々から支えを受けながら開催されていることがわかりました。その後、敬老会は大盛況の中で終了していますが、家路に就く諸先輩方の表情はみな生き生きとしており、私に勇気と活力を与えてくれました。

私の福祉活動はまだ始まったばかりで、社会に貢献できる活動は何一つ出来ていないのではと考えますが、諸先輩方から頂いた勇気と活力を糧に、一步一步少しずつ歩みを進め、大住地区の発展に貢献して行きたいと考えています。



福祉協力員連絡会について

福祉協力員連絡会代表 川越 政美

大住社会福祉協議会に福祉協力員連絡会が設置されてから5年目を迎え、これからも充実した活動や研修を個人的な活動を基盤としながらも、福祉協力員同士がお互いに協力し情報交換をしながら成長していくためのツールとして、この連絡会を有効に利用してもらいたいと思います。

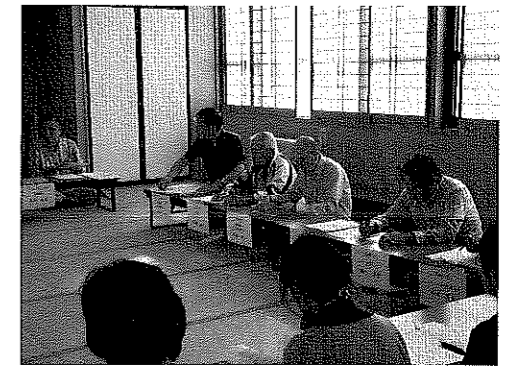
そのためには連絡会としても、福祉協力員のニーズに合った研修や活動を福祉協力員の皆様と一緒に考え、また協力を得ながら本年も実施していきたいと考えています。

本来、福祉協力員とは大住地区各町内会の推薦を受け、大住地区社会福祉協議会から委嘱を受けた者であり、法律や条例に基づく制度での規定はなく、あくまでもボランティアであり無報酬です。そのため、身分的に不安定であり、そのことが活動の障害にもなってきました。大住地区社会福祉協議会では、いち早くこの障害をなるべく少なくする為に真坂会長の下、福祉協力員連絡会を発足させたものです。この様な経緯からも各町内会長はもちろんのこと民生委員や町内の皆様のご理解とご協力がなければ、福祉協力員制度若しくは福祉協力員は「絵に描いた餅」になってしまいます。最後になりましたが、地域の皆様、今後とも福祉協力員を暖かい眼差しで支えていてもらいたいと思います。よろしくお願いします。

- 地域の皆様、「福祉協力員」をよろしくお願いいたします。
- 町内会長さん、町内から「福祉協力員」をご推薦ください。
- 町内の100世帯に1人を目安にご推薦お願いいたします。

平成28年度 福祉協力員連絡会名簿

	町内会	協力員	備考
1	仁井田西湯敷	川越 政美	代表
2	稗田南	会場 金一	代表代行
3	牛島西四丁目	鈴木 良一	代表代行
4	東湯敷	西野 清	事務局兼会計
5	踏見幸町	熊地 信雄	監査
6	東湯敷	柴崎 衛	監査
7	稗田南	加藤 孝子	
8	牛島西第一	金子 則子	
9	いな穂	高橋 征一	
10	大住南	片野 昭喜	
11	大住南	金 良治	
12	東湯敷南	佐藤 辰夫	
13	牛島西四丁目	一関 新一	
14	第二みなみ野	門脇 利成	
15	仁井田踏見町	伊藤 八郎	
16	大住中央通り	高橋 和夫	
17	仁井田西湯敷北	大庭 歴正	
18	庚塚南	関 章平	
19	大住	石郷岡知子	
20	大住北	相川 弘子	
21	大住北	藤原 薫	
22	おたかの橋	菅原 一男	
23	仁井田湯中町	筒井 悦子	



福祉協力員研修会風景

《町内会長座談会》 平成28年7月17日開催

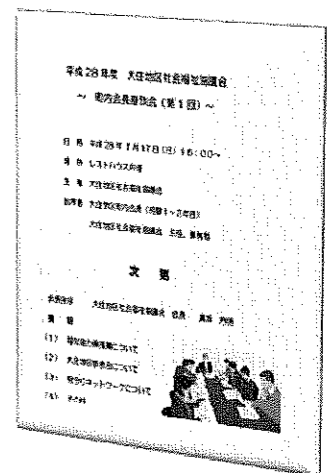
テーマ：大住地区社会福祉協議会の事業と町内高齢者見守り活動について

対象：会長就任1～2年目の町内会長

平成27年度～平成28年度に就任された大住学区内会長の皆さんに大住地区社会福祉協議会の年間事業を説明しています。

各町内会から寄せられる「各種募金や負担金の使われ方」および「高齢者見守りネットワーク事業（町内会による見守り活動）」の必要性とその活動を支援する「福祉協力員選出の依頼」など、町内会長の悩みや町内会事情など忌憚なくお話を伺いました。

大住地区社会福祉協議会における事業改善策や町内会支援など今後解決する基礎情報となりました。





「青い山脈」全員合唱(ステージ上はご来賓の皆様)



かんぱ〜い



大住小学校児童



秋田太陽幼稚園児



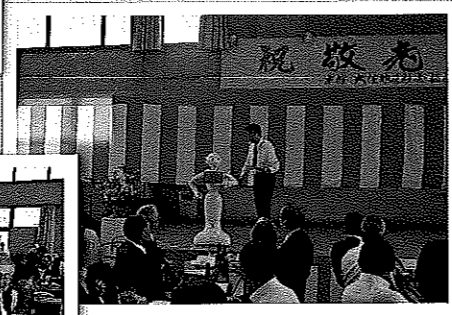
大住小学校児童(日舞クラブ)



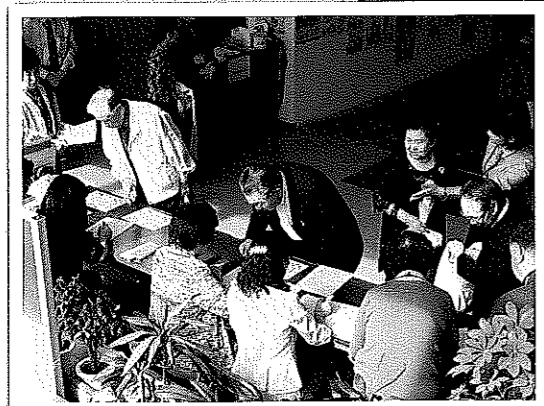
ザ・ジーバース(スコップ三味線)



カラオケ熱唱中



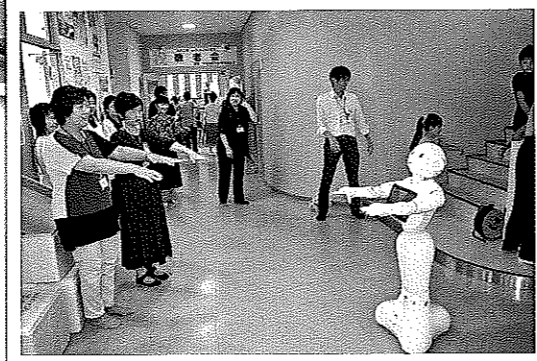
ペッパーによる演芸司会



会場風景(メイン会場)



受付風景(入口)



会場風景(入口フロア)

大住地区社会福祉協議会主催

第5回グラウンドゴルフ大会

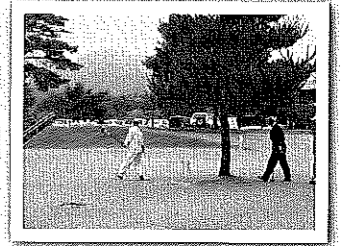
平成28年6月25日（土）太平山リゾート公園グラウンドゴルフ場で開催、37名参加いたしました。

<入賞者>

- 1位：〔男性〕大住南 伊藤 正夫さん
〔女性〕大住南 伊藤 幸子さん
2位：〔男性〕大住南 宮腰 誠さん
〔女性〕大住南 藤原 擁子さん
3位：〔男性〕大住 阿部 京孝さん
〔女性〕落見町 藤澤キミ子さん



入賞者記念写真



競技風景

ふれあい集会

11月19日開催

「ふれあい集会」に参加して

おたかの橋町内会会長 田中 勉

高齢者といえば、介護と考えがちですが、圧倒的に多いのは元気な高齢者です。その意味で「大住地区ふれあい集会」の取り組みは、非常に大事な活動でありますし、地域の高齢者を地域で支えあいながら、共に元気で長生きすることが一番だと考えます。

今後、高齢化が、間違いなく進んでいきます。その中で元気な高齢者が、一人暮らしでも困らない地域を作っていくことが重要であります。社会福祉協議会を中心に地域の方々と協力して、共生社会を目指していきたいと考えます。



カラオケ熱唱中



オカリナ演奏



大当たり（抽選会）



民生児童委員・オン・ステージ